

忍路

教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年9月26日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより6号



「虫好きの子ども達」

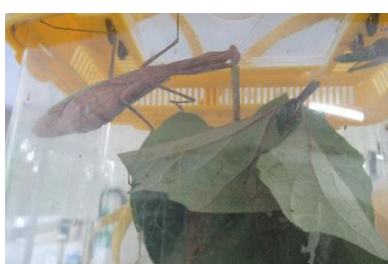
校長 本庄 有希子

本校は海、山、川に囲まれた自然豊かな地にあります。そのため多くの虫（昆虫）が学校を訪問しにきます。モンシロ蝶、クワガタ、カナチョロ、ダンゴムシ、カマキリ等々、そのお客さんを児童や先生方が飼育しています。おかげで、本校の児童生徒、先生方には虫好きがたくさんいます。

虫はもっとも身近な生物であり、「虫というもっとも小さなものに、最大の驚きが隠されている」というファーブル（ファーブル昆虫記をまとめた人）の言葉にあるように、虫に触れることは不思議への感性を刺激します。虫のことを理解するためには、餌である植物、分布やどのような環境が適しているかなどの地理や気象、自然史、科学などの知識が必要になり、学んでいくことになります。大学の生物以外の先生や、医者、工学系、環境問題の研究者などに「昔、昆虫が大好きだった」という人が多くいるそうです。ノーベル賞を受賞した福井謙一博士、小柴昌俊博士、白川英樹博士はかつて昆虫少年であり、その経験が研究に役に立ったと自伝に書いています。

また、虫の命のサイクルは短いため、虫にふれることで子どもたちが死という現象に直面する機会が多くなります。カナチョロを飼うために、コオロギやクモを餌にしていることも、生態系を学び、私たち人間が自然とともに生きることを考えるきっかけとなります。弱いものを慈しみ、心の豊かさを育み、生命の不思議への感性を磨く命の教育につながり、デジタル世代の子どもたちにとっては貴重な経験となっています。

私は小学生のときに、カタツムリを飼育していました。道を歩いて出会うカタツムリは必ず持ち帰り、気づけば200匹以上。その経験からか、今もアスファルトにカエルやミミズが居ると、干乾びてはかわいそうだと、必ず草むらに救出しています。いつか、鶴の恩返しではなく、ミミズの恩返しが来るのではないかと思います。



SOSの出し方について

子どもの中には、言葉で「SOS」を出しにくい子どももいるため、日常の子どもの観察や朝の健康観察を行っています。不安や悩みを抱えたときは、保護者や学校の先生、スクールカウンセラー（本校では月に2回程度勤務します）、「地域の相談できる大人」へ相談するよう学校でも伝えていきますので、ご家庭でも折に触れお話してください。

●子ども相談支援センター0120-3882-56

●子どもSOSダイヤル 0120-0-78310

●北海道いのちの電話 011-231-4343

小学校 鯨漁撈・蘭島川の学習

9月2日（月）、小樽市民族芸能伝承事業の一環として、忍路鯨場の会の相馬さんと小樽市教育委員会生涯学習課の山本侑奈氏を講師として鯨漁撈について学習しました。小樽市総合博物館に展示されている当時の鯨漁の絵を見たり、漁で使われていた道具を教えていただきました。

9月13日（金）には自然教育促進会の安原政志氏から川の生き物について学びました。蘭島川で採取した、エビやカニ、魚などを手で触って観察し、その後スケッチしました。地域の教材があり、講師がいる、この忍路小中学校の環境は本当に素晴らしいです。



小学校 おこばち山荘宿泊学習

9月19日（木）・20日（金）の2日間、小学校5・6年生は宿泊学習を行いました。1日目は東洋水産に見学に行き、おこばち山荘でパークゴルフ、夕食づくり、花火を行いました。2日目はあいにくの雨天だったため、室内で環境プログラムを行いました。

1日目の夕食はカレーライスを自炊し、飯ごうでお米も上手に炊け、カレーも美味しく調理することができました。2日間仲間と協力して過ごし、たくさんの楽しい思い出ができたようです。



中学校 総合的な学習の時間

9月3日（火）、中学校ではキャリア教育の一環として、「とぺんぺ」さんを訪問させていただき、仕事のやりがいなどの話をさせていただきました。最後に自分たちでかき氷をつくる体験をし、生徒たちにとってこれからの自分の生き方を考えていくうえで、とても大切な学びの場となりました。

9月13日（金）には、忍路環状列石に行き、小樽市教育委員会の山戸大知氏、蘭島地区の勝又英夫氏に環状列石や土場で発掘された土器などの説明をしていただきました。小樽には102の遺跡があるそうですが、その7割から8割は忍路地区にあることを学び、改めて地域の教育資源の豊かさに気付くことができました。



小中 体力向上の取組

8月26日（月）から9月13日（金）まで、運動能力や体力向上を目的として、体育館に鉄棒を常設し、鉄棒週間としました。中休みや、昼休みに、鉄棒を使って遊んでいる姿が見られ、腰のタオルを補助に、先生に逆上がりを教えてもらい「できた！！」と大喜びする児童もいました。

また9月13日（金）には小中合同の体育授業（ベースボール型スポーツ）を行い、小学生は中学生にあこがれをもち、中学生は小学生へ思いやりの心を育むなど小中併置校の強みを活かした体力向上の取組を行いました。



小中 発表会について

10月12日（土）に忍路中央小学校体育館にて小中発表会を開催します。旅行的行事や日頃の子どもたちの学習の成果を、保護者や地域の皆さんに見ていただく貴重な機会です。

ぜひ多くの保護者・地域の方々にご来校いただきますようよろしくお願いします。

小学校 食育授業

9月4日（水）、小学校では、小樽商工会議所による食育授業の一環として、『オステリア・イル・びあっと・ヌォーボ』の三輪信平さんを講師とし、『しりべしコトリアード』という魚介スープ（鍋）を調理する過程を見学しました。玉ねぎの千切りの速さに、子どもたちは驚きの声をあげていました。「なんで牛乳を使うのですか？」など子どもたちの問いにも丁寧に答えていただき、後志の食材のすばらしさを実感した授業となりました。

秋の資源回収について

10月19日（土）に忍路小中PTA【秋の資源回収】を行います。回収するものは紙類です。ぜひ、ご協力をよろしくお願いします。